

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 8. 19

No.33

進路決定の時！



夏休みも終わりいよいよ進路決定の時を迎えようとしています。本日最終的な進路希望調査を行い、明日は校内での就職者の選考会議を行います。

これまでずっと経済の上向きを期待していましたが、未だにそれほどの上昇が望めない状況にあり求人も依然少ないままです。少ない求人数に多くの生徒が集中する状況は全く解決できていません。明日の選考会議で受験する企業が決まっても、その企業に確実に合格する保証は全くありません。昨年まではある程度校内で専攻された企業を受験すればほとんどの人が合格しましたが、今年は求人1に対して5～6人が受験ということはざらでしょう。各学校毎の競争が激しくなり、誰が合格できるか否かは全く分かりません。夏休み中にずく出せ修行に行った会社に、皆さんの研修終了後それとなく聞くと「**今年はずく出せ修行に来てもらったからといって採用の確約はできない**」とのこと。

面接試験も含め採用試験でしっかり自分を売り込めたり、よほど自分のウリがある生徒でないとうかうかしてられない状況です。「**何とかなるだろう**」という甘い考えでは**本当に痛いめを見ることになります**。一度落ちると次の会社はすぐには見つかりません。最悪卒業式を過ぎてても就職活動をしなくてはいけなくなることもあり得ます。「ダメならしょうがない」と初めからあきらめていては道は開きません。少しでも**何とかしなくてはという気概を忘れないで**ください。

これから面接練習も始まります。如何に本番に向け気持ちを高め、真剣になるかにより皆さんの今後の明暗が分かります。如何にこの危機的状況を乗り切るか、厳しい現状をしっかり受けとめ自分なりの打開策を考えてください。



就職支援員に唐澤先生をお願いする

6、7月と2ヶ月間にわたり新たな就職開拓をお願いした谷口先生にかわり、8月3日より1月15日までの間、新たに唐澤先生に就職支援員をお願いしました。唐澤先生はこの3月まで箕輪町の役場にお勤めになっておられましたが、地元の企業さんとの顔の繋がりも広く、これから新たな企業開拓をしていただくことになっています。

これまで採用を見合わせていた企業さんも、決して最良の状態まで戻ってはいないでしょうが少しでも採用いただけることを願い、唐澤先生にまた色々のご苦勞を頂くことになっています。学校としても色々な方々のご支援を頂き、3月までには何とか希望者全員の進路が決められるように努力をしていきたいと思います。

ただし、皆さんが真剣にこの状況を受けとめ対処を考えていかないと、新たな企業をせっかく開拓しても本校の生徒だけにというわけにはいきません。受験したら他校の生徒にはじからさらわれていかれても困ります。また新たに開拓いただいた企業も必ずしも規模の大きいものとは限らないでしょう。あまり贅沢を言っていると本当に後が無くなります。